

湯梨浜中学校だより



湯梨浜町立湯梨浜中学校 校長 武田基資（令和3年9月30日）

明日から中部新人大会

明日10月1日（金）から第39回中部地区中学校新人大会が開催されます。柔道や水泳、陸上など、すでに大会が終了したり、今回は開催されなかったりする競技もありますが、その他は1,2年生による新チームで出場します。ホームページにも掲載したように昨日は全校で激励会を行いました。中部では現在、新型コロナウイルス感染を抑え込んでいるとは言え、警戒を緩めるわけにはいきませんので、体育館フロアの窓を全開にして、生徒も可能な限り広がって集会形式で行いました。企画・運営は部長会と生徒会執行部が協力して行ってくれました。

各部の決意表明では、3年生から引き継いだ新キャプテンが、思いっきり緊張しながら、決意を語ってくれました。きっと相当練習してこの場に臨んだのでしょう。中には元々3年生がいなかった部もありますが、ほとんどの部が新チームで初めての公式戦に挑みます。各部のキャプテンを中心に全員の力を合わせて勝負してほしいと思います。そして、言われたことだけでなく、一人ひとりが自分で考えて、工夫しながら、試合態度はもちろん、挨拶やマナーの面でも「さすが湯梨浜中」と言われるように行動してほしいと思います。

新キャプテンの決意表明の中で、大会が開催されることへの感謝が多く語られました。それはコロナ対策も含めて大会関係者や家族、先生方に向けた言葉のようでしたが、会場となった学校や施設のみならず、そして選手輸送バスの運行についてはバス会社だけでなく町教育委員会・役場の方にも大変お世話になっています。多くの人々が、皆さんが試合を経験して大きく成長することを願っておられます。

明日は少し天気が心配されますが、何とか開催できるのではないのでしょうか（校内運動会では悪天候で大変ご迷惑をおかけしました）。各部の健闘を祈ります。

生徒会企画「CROSS OVER」の成果を活かして

学校生活の向上をめざし、生徒会の各専門委員会が工夫して点検項目を設定して各学級でポイントを積み重ねていく取組が、先週末まで実施されました。昨日は新人大会激励会に引き続いて、学級表彰がありました。ポイントによって順位は付くのですが、何よりも一人ひとりが意識して自分の学校生活を充実させるよう努力したことが値打ちだと思います。



朝、生徒玄関前で挨拶をしていると、最近自分の方からすすんで明るく挨拶してくれる生徒が増えたのですが、さらにこの期間中は遅刻ギリギリにやってくる生徒がぐっと減りました。始業時刻を意識して遅れないように努力しているのが分かりました。そして今朝の朝読書も、学年が上がるにつれて落ち着いて姿勢良く読書に集中している姿を多く見ました。心に余裕を持って取り組むための早めの行動ができ、授業や読書、その他の活動の質を上げることにつながったようです。

表彰後に執行部代表が次のような話をしてくれました。再度確認したいと思います。『企画は、文化祭に向けて、よりよいクラス、学校をつくっていくためのきっかけだと思ってください。結果には関係なく、どのクラスも今までに無かった成長や協力があつたと思うので、それを大切に続けていき、文化祭で発揮できるようにしましょう。』